

大谷中学校だより



NO10



URL <http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~ootanj/NC2/>

H26年10月1日発行

暑い夏が過ぎ、残暑の残る秋かと思えば、いっぺんに秋が来たような天候が続きます。2学期は子ども達にとっても行事の多い学期となります。運動会、文化祭、修学旅行など思い出に残る季節となります。また、保護者の方も黒米の稲刈りや地区別PTA研究発表会を控え、忙しい日が続きます。

10月行事予定

10月	1日	水	PTA交通安全指導 安全点検
	4日	土	全能登バスケ能登町大会(能都中)5日まで 全能登卓球大会(穴水中)
	6日	月	生徒集会
	7日	火	1年保健指導
	8日	水	2年保健指導 小中英語交流 ALT
	9日	木	3年保健指導
	14日	火	校内写生大会
	15日	水	PTA交通安全指導 教育講演会(緑丘中)
	18日	土	全能登バスケ輪島大会19日まで
	22日	水	中間テスト
23日	木	中間テスト	
25日	土	PTA研究大会準備	
26日	日	地区別PTA研究大会(西部小)	
31日	金	文化祭準備	
11月	1日	土	中学校文化祭
	4日	月	代休日
	9日	日	大谷地区文化祭

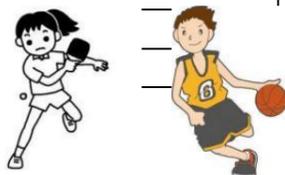
先輩の胸を借りて練習した成果を発揮してもらいたいものです。

新キャプテン
バスケ：〇〇君
卓球：〇〇さん



緑丘中学校で加賀屋に勤めている客室指導係の岩間さんのお話があります。プロが選んだ旅館日本1位「加賀屋のおもてなし」について聞けます。どうぞ聞きに来て下さい。

*文化祭準備で忙しいさなかですが、準備をして中間テストを乗り切ってください。すぐに中間テスト対策を立てましょう。



新人大会始まる!!

新チームになったメンバーでいよいよ新人大会が始まります。新キャプテンを中心に夏休みには基本練習を中心に、暑い中熱中症に気をつけながら頑張ってきました。男子バスケット部は健民体育館で緑丘中学校との対戦でした。女子卓球部は穴水中学校で、穴水中、能都中、大谷中の3校で行われました。

男子バスケット部は3年生の力を借りながら、ゲームに慣れるようにしてきたおかげで、善戦できたように思えます。しかし、ボール運びや簡単なシュートを落とすという課題がみえ、全能登大会までには改善できるようにしていかなければなりません。卓球部でも、かなりレベルアップしてきましたが、穴水中の壁が厚く勝つことができませんでした。試合ではサーブミスや簡単なレシーブミスなどがみられるので、この後の練習で鍛え直していきたいと思えます。

全能登新人大会に向けて、反省を活かし戦ってほしいものです。



伝承クラブ

今年は県の音楽教育研究大会や地区別PTA研究大会のアトラクションに出演する為、町の先生(川端さん、豊平さん、國永さん)3人に指導して頂いています。昼休みの短い時間ですが、みんな真剣に太鼓をたたき、流暢な笛の音が学校に響いています。中学生は、この時ぞとばかり小学生をリードしながら大谷地区の伝統を受け継ごうとしています。

川端さんは、当日の演奏を考え早くも子どもたちに指示を与えていました。



いしかわ読書の日

いしかわ読書の日になんで、夏休みに書いた読書感想文を各学年から代表(1年：〇〇さん、2年：〇〇君、3年：〇〇さん)を選んで発表しました。また、読書感想画では、〇〇君と〇〇君の作品が選ばれました。

〇〇さんと〇〇さんの感想文は学校代表として、市の読書感想画コンクールと読書感想文コンクールに出します。

2年 〇〇君

書いた絵は、『太陽の国』という本です。この本は主人公が自分の生まれた国に行き一緒に住んでいた家族と離れ離れになり、いろんな村を回りその家族をさがすという内容です。

この場面は主人公が海を潜っているところです。この絵を描いた理由はいろんな経験をして、とても苦しんでいたのが、主人公には、その時がとてもうれしかったらと思うからです。



3年 〇〇君

アーネスト・ヘミングウェイの作品『老人と海』を読んで、老人が三日間かかって釣りあげた魚です。老人とかじきまぐろの格闘が面白かったので、その場面を描きました。



大蔵流狂言講演会

市内の中学生全員394名が、ラポルトすずの大ホールで大蔵流狂言講演会へ参加しました。子ども達に舞台芸術に触れる機会を提供することが目的でした。構成は皆さんもご存じの演目『附子』と『柿山伏』を観劇し、各校代表が狂言体験をしました。〇〇君、〇〇さん、〇〇君でした。基本的な動作や動物の鳴き声などを体験しました。

【生徒の反応(感想様子など)】

- ・最初は少しわからない言葉を使っていましたが、だんだんわかり面白いと思った。
- ・単語はいくつか聞き取れなかったけど知っている話だったので楽しかった。普通の芝居より感情がわかりやすいと思った。
- ・怒る、泣く、笑うなど感情の表し方が決まっているので、話がわからなくても伝わると思いました。
- ・狂言と聞いてもあまりなじみがなく、どちらかというつまらない印象だったけど、実際に見てみると思っていたより分かりやすく面白かった。また、トークもとても面白かった。
- ・感情の表し方が独特で面白いなと思いました。また、小道具があまりないため、扇子を使っているいろんなものを表現しているのはすごいと思いました。
- ・狂言を見るのは初めてだったのでとてもめずらしかった。教科書で習っていたので内容は知っていたが、生で見てとても面白かった。

【体験に参加した代表生徒の感想】

- ・狂言笑学校に行くまでは、狂言はつまらないものだと思っていた。まじかで見るとけっこう面白くて、特にかき山伏の動物のまねが面白かったです。
- ・狂言の体験では、少し緊張したけど狂言師の人たちがフレンドリーで楽しむことができた。
- ・狂言の基本的なかまえなど、少し興味がわいた。機会があったら体験したい。

学校評価中間報告

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。保護者、生徒、教師が自己評価したものを参考に学校評議員さんに改善点などを意見して頂きました。一学期の終了間際に行った結果を中間報告し、改善点を2学期以降に取組んでいきます。

学校評議員
 水上 浩 様
 大兼政康秀 様
 榎木 雅子 様

平成26年度 学校評価書					A+B=80%以上を目標		数値は%			
学校教育目標 『目標を持ち、その実現に向けて粘り強く努力する生徒の育成』										
重点目標	評価内容		保護者アンケート		生徒アンケート		教職員自己評価			
				A+B		A+B	評価項目	A+B		
1	確かな学力の育成	小規模校の特徴を導き活用し、きめ細かな指導を	「わかる授業の実現」のために指導法の工夫・改善に努め、確かな学力を身につけさせる	学校は子どもの学力向上のために努力している	89%	授業中の先生の説明が理解できる	100%	生徒にとって分かりやすい授業を行っている	86%	
			教育活動全体を通して言語活動を充実させ、活用力を育成する				先生は丁寧に授業をしてくれ、質問や疑問に答えてくれる	95%	生徒の興味・関心を高め、授業の工夫や改善を行っている	100%
			基礎学力を定着するために各種コンテストではスモールステップでの組織的な取り組みを実践する	学校は子どもの基礎的な学力（漢字・計算・英単語・重要語句など）の定着に努力している	78%	授業中自分の意見を書いたり自分から発言したりすることができた	76%	「書くこと」「根拠を述べること」を重視し、教育活動全体を通して表現の場を設定している	86%	
			家庭学習が充実するように、個々の生徒に応じた課題提出等のきめ細かな取組を工夫する	子どもは1時間以上の家庭学習をしている	94%	友達の見方や発言が自分にとって参考になった。	100%	生徒には基礎的な学習内容が身につくまで十分に指導するとともに、遅れがちな生徒に対しては適切な個別指導を行っている	86%	
						勉強の基礎的なことが身についていると思う	86%	提出された宿題やプリントのチェック・添削などきめ細かな指導を行っている	86%	
2	豊かな心・健やかな身体の育成	思いやりの心、たくましさ、積極性を育む	生徒理解に努め、一人ひとりの問題や悩みにきめ細かく対応する。努力や良さを認め励まして自信を持たせる。	子どもはいじめや仲間外れなく、友達と仲良くしている	94%	学校が楽しく、友達とも仲良くしている	95%	職員間の情報交換や教育相談を実施するなど生徒理解に努めている	86%	
			キャリア教育を推進し、将来を見据えた有意義な中学校生活を送らせる	学校は子どもたちの悩みに適切に対応している	89%	先生はあなたの話や悩みを聞いてくれる	95%	生徒を励まし、応援するようにしている	100%	
			道徳や特別活動、地域での自然体験やボランティア活動などを充実させて、思いやりの心を育成する	子どもは学校行事に楽しく参加している	100%	学校行事は楽しい	100%	生徒のよい面を認め、伸ばそうとしている	100%	
			学習や部活動を通して、継続して取り組む粘り強さやがまん強さを育成する	子どもはやさしく思いやりのある行動がとれる	94%	進路学習は興味を持って取り組むことができた	81%	キャリア教育や小学校・高校との連携を適切に進めている	71%	
				子どもは楽しそうに登校している	100%	学校行事は楽しい	100%	学校行事や地域での活動等を通して道徳的実践力をつけさせている	86%	
				子どもは楽しそうに部活動に参加している（参加していた）	94%	友達に思いやりの気持ちを持って接している	100%			
				一人一人を大切に健康相談の充実を図る。	生徒の病気やけがに対し、いち早く保護者に連絡を取っている	78%	苦手教科の克服に取り組むことができた	62%	学校生活ですべての生徒が活躍する場を設定し、達成感や満足感を持てるようにしている	100%
3	教育環境	教育環境の整備と充実	読書に親しみ、積極的に読書する体制の確立を図る 5000ページ目標	読書をするための環境の整備をしている	94%	図書館司書を利用し沢山の本を読んでいる	86%	語彙力を増やすよう、読書を積極的に進めているか	86%	
			施設整備の整備・点検や美化に努め、教材・教具など、安全で整った教育環境を作っている	整備・点検や美化に努め、教材・教具など、安全で整った教育環境を作っているか	83%			安全点検だけでなく、教室掲示や廊下など施設や環境の整備に努力している	100%	
			一貫校として両校職員の連携した教育活動を実践している	一貫校としての準備がなされていると思えるか	39%			小中連携した教育活動が進んでいると感じるか	71%	
4	学開校かつれくた組の織推的進な	小域と連携家庭す庭の地	学校からの情報発信を増やし、開かれた学校づくりを行う	学校は、学校便りやホームページで学校の様子を分かりやすく知らせてくれる	94%	学校は、学校生活や自分達の様子を家庭や地域の人たちによく知らせてくれる	81%	学校便り等により定期的に情報を発信し、学校の教育活動について保護者・地域に説明している	86%	
			保護者や地域の声に真摯に耳を傾け、教育活動の改善に活かす	学校は保護者（地域）の声や要望を汲み取る努力をしている	78%	地域の人たちと交流したり、話を聞いたことはよい経験になった	86%	家庭や地域と連携して特色ある教育を進めようとしている	71%	
								小学校と連携し、9年間の系統的な指導をめざしている	71%	

【注】A・・・当てはまる B・・・どちらかという当てはまる C・・・どちらかという当てはまらない D・・・当てはまらない ※ A+B: 肯定的な意見 ※ アンケート項目にないところは斜線

◎学校関係者評価委員からの意見・提言

- ◎恥ずかしい年頃かもしれないが、元気な声が聞きたい。
- ◎自分の思いを伝えられる、表現できる生徒。
- ◎授業内容に理解はあるものの、苦手教科克服への取組みが低い値であることから、生徒自身の教科選別があるということでしょうか？ 克服姿勢にテコ入れを。
- ◎たくさんの読書がされているのは、司書による図書への勧めの成果だと思う。良い図書への勧めをさらに取組んでほしい。
- ◎総じて評価書からは健やかな学校生活を送っている事が窺える。
- ◎教職員、生徒、保護者が一体となり、日々の教育活動の成果が大谷中学校らしく伝統的に良い評価として現れると思います。
- ◎小中一貫校としての目的、特徴、期待する教育効果等を保護者をはじめ、地域の皆さんに発信し、地域が一体となって、その効果が得られる様に種々取組んでほしい。